

| | |
|-------------|---|
| Title | 表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか |
| Author(s) | |
| Citation | 物性研究 (2002), 78(2): 231-231 |
| Issue Date | 2002-05-20 |
| URL | http://hdl.handle.net/2433/97203 |
| Right | |
| Type | Others |
| Textversion | publisher |

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成14年5月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第78巻 第2号

ISSN 0525-2997

vol.78 no.2

物性研究

2002 / 5

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文中で引用する時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **76** (2001), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

学生の頃、5年間程中央公論を愛読していた事がある。立花隆の「脳死」が連載されていたり、ヴォルフレンの「日本権力構造の謎」の出版前の論文が掲載されていたり、西尾幹二の国粹主義的な論文があったり、亀井静香の意外に論理的な提言があったりで多彩でかつ飽きの来ない記事が並んでいた。また89年に在米中に見つけて面白いと思った 'Japan Containing' という記事も直ちに翻訳されたりして編集者の眼力の確かさを感じざるを得なかった。しかし90年頃から急にこの雑誌に興味を失った。漫画「笑うセールスマン」が連載されるなど、読者層の拡大を狙った記事の変質を感じたからである。その後は文芸春秋の方がましに思える位に質的に凋落し、読売の渡辺氏に買収されて御用雑誌に成り下がった。

似た様な経験は廃刊間際の朝日ジャーナルでもある。筑紫哲也の手腕もあったのかもしれないが、新人類という言葉を作り出したり、手塚治虫の未完の遺作「ネオ・ファウスト」の連載や東大の助教授として中沢新一を採用すべきかという中沢問題に鋭い分析を加え議論を呼ぶなど部数は出ないもののユニークな雑誌として固定読者を掴んでいた。しかし下村満子が初の女性編集長として就任して以来、女性を過剰に意識した(今のAERA程ひどくはないが)つまらない雑誌になってしまい読む事をやめた。程なく朝日ジャーナルは廃刊せざるを得なくなった。

これらの例に共通しているのは硬派雑誌が読者に阿る姿勢を見せると読者は敏感にそれを感じ取って却って人気を失うということである。無論、中央公論や朝日ジャーナルは厳しい販売競争にさらされていたのであるから、じり貧状態を脱するために路線変更をしようとしたのは理解できなくはないが、自らの存在意義を否定するような事をしてはいけないのである。

1年程前に前編集長の海外出張に伴い思いがけず物性研究の編集長をする様になったが、本誌の存在意義、即ち、編集者が面白いと判断する研究内容を読者に阿らず、まとまった分量で手加減なしに書いて頂くという方針を遵守していきたいと思っている。

(H. H.)

[物性研究]

編集長

早川 尚男 (京大・人環)

編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)
北村 光 (京大・理・物理)
中尾 裕也 (京大・理・物理)
藤本 聡 (京大・理・物理)
加藤 将樹 (京大・理・化学)
佐々木 豊 (京大・低温センター)
常次 宏一 (京大・基研)
大木谷 耕司 (京大・数研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
早川 美徳 (東北大・理・物理)
藤本 仰一 (東大・教養・基礎科第一)
堀田 貴嗣 (原研・先端研)
出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)
永井 寛之 (信州大・理・物理)
岡本 祐幸 (分子科学研)
倭 剛久 (名大・理・物理)
池田 研介 (立命館大・理工・物理)
関本 謙 (京大・基研／在フランス)
森成 隆夫 (京大・基研／在アメリカ)
菊池 誠 (阪大・理・物理)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
市岡 優典 (岡大・理・物理)
吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第78巻第2号 (平成14年5月号) 2002年5月20日発行

発行人 関 本 謙

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭和企業組合
昭和堂印刷所

〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
TEL(075)721-4541~3

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

[物性研究]

編集長

早川 尚男 (京大・人環)

編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)
北村 光 (京大・理・物理)
中尾 裕也 (京大・理・物理)
藤本 聡 (京大・理・物理)
加藤 将樹 (京大・理・化学)
佐々木 豊 (京大・低温センター)
常次 宏一 (京大・基研)
大木谷 耕司 (京大・数研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
早川 美徳 (東北大・理・物理)
藤本 仰一 (東大・教養・基礎科第一)
堀田 貴嗣 (原研・先端研)
出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)
永井 寛之 (信州大・理・物理)
岡本 祐幸 (分子科学研)
倭 剛久 (名大・理・物理)
池田 研介 (立命館大・理工・物理)
関本 謙 (京大・基研／在フランス)
森成 隆夫 (京大・基研／在アメリカ)
菊池 誠 (阪大・理・物理)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
市岡 優典 (岡大・理・物理)
吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第78巻第2号 (平成14年5月号) 2002年5月20日発行

発行人 関 本 謙

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭和企業組合
昭和堂印刷所

〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
TEL(075)721-4541~3

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物性研究 78-2(5月号)目次

○講義ノート

「応用解析チュートリアル」…………… 113

○「情報」に関する13章—私家版・情報学入門— ……伊庭 幸人………… 172

○多体論の立場からのバンド理論の基礎づけ……………安原 洋………… 194

○編集後記…………… 231

物性研究 78-2(5月号)目次

○講義ノート

「応用解析チュートリアル」 113

○「情報」に関する13章—私家版・情報学入門—伊庭 幸人..... 172

○多体論の立場からのバンド理論の基礎づけ.....安原 洋..... 194

○編集後記..... 231